

がく と きん ろう どう いん
学徒勤労働員



中島飛行機武蔵製作所内での写真

戦争末期の1944(昭和19)年頃になると、学校の授業は中止になり、中学生や女学生も工場に動員され、飛行機や武器をつくっていました。武蔵の野女子学院高等女学校の生徒は中島飛行機武蔵製作所や三鷹研究所、豊和重工業田無工場などに動員され、武蔵製作所で働いていた4名が1944(昭和19)年12月3日の空襲で亡くなりました。



シリンダー内壁を
 検査する学徒

丹羽慈子氏提供



武蔵野大学にある
 散華乙女の記念樹碑

散華乙女の碑

同期生たちがまとめた追悼文集

撮影:牛田守彦氏

散華乙女の記念樹
 武蔵野女子学院高等学校
 五年生は昭和十九年勤労報
 国隊として動員され中島飛
 行機武蔵製作所で航空機増
 産のために連日けんめいに働い
 ていました。たまたま同年十二
 三日作業中空襲があり待避
 のため母校の掩蓋壕に入りま
 したが悲しいかな直撃弾を
 うけて赤沢ミヨ、小林りつ子、
 斉藤昭子、中根尚子の四名の
 年若い命が散華いたしました。
 その爆弾跡に土壇をつくり
 白い寒椿を植えてご供養の
 記念樹といたしましたものであ
 ります。
 武蔵野女子学院